

森のめぐみの
保育環境オンラインセミナー2021
～実践報告～

2021年9月20日(月・祝)

社会福祉法人ピオニイ福祉会

ピオニイ保育園

園長 仁科 真由美



幼児教育・木育の源流を学ぶ

🌲 「オランダと森の国ドイツ幼児教育研修旅行」

「木育」という言葉に惹かれ、森林文化協会が企画提携の「オランダと森の国ドイツ幼児教育研修旅行」へ参加しました。



 富山県富山市の自然豊かな環境で育ち、東京中野が故郷になる子どもたちに何とか自然を感じさせてあげたいという思いが強くなりました。



<富山県 立山連峰>



“都会の中にあたたかな木の温もりを感じる保育園”

🌳 新園のコンセプトを

「**都会の中にあたたかな木の温もりを感じる保育園**」
に決めました。

🌳 **園舎の内装**

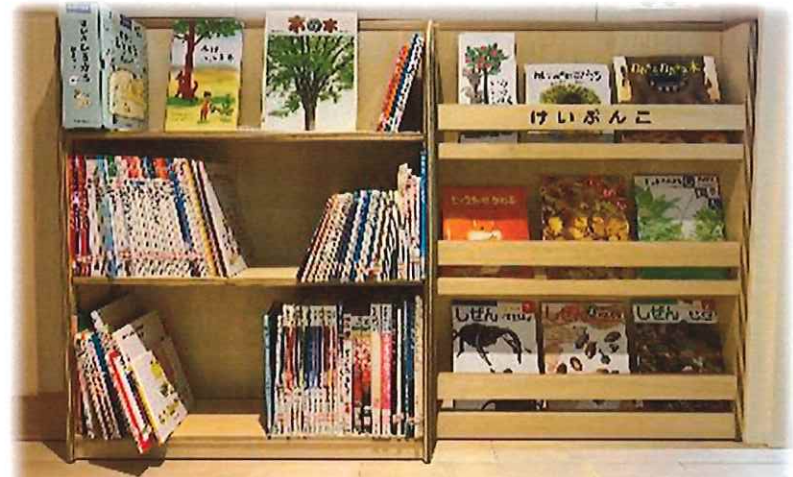
内装を床・腰板・ロッカー・机・椅子・部屋のサインなど、できる限り木製にしました。床には特にこだわり、設計士さんと選びに行きました。



「けいぶんこ」

☁ 玄関横に本棚を設置しました。

- 開園のプレゼントとして知り合いの先生が、息子さんのために厳選して購入した絵本を約200冊いただき、「けいぶんこ」と命名してくださいました。
- 慧眼という言葉もあるように、本というのは心の目を開いてくれるとのこと。
- 設計士さんが腰板に合わせて福井県から本棚を特注。



木育補助金で玩具を購入

🌳 玩具を購入し、園内研修を受けました。

-
- ・カプラ
 - ・大工セット
 - ・木製のままごとコーナー
 - ・木製パズル
 - ・積み木
 - など



木育に関する人材育成



 国際ピラミード日本センター 勝山 結夢先生

→子どもの成長と、遊ぶことの大切さを学びました。

⇒玩具を購入して園内研修を実施し、職員も巻き込んでいった。

⇒園だより等で保護者に子どもたちの遊ぶ様子や園内研修のことを知らせ、木育に力を入れていることを伝えていった。

⇒保育カリキュラムに木育の項目を設けた。



子どもたちとの自然遊び

♻️ クラフト作り

→日々のお散歩や遠足で草地広場や森林公園に出掛け、木に親しんだり、枯れ枝を拾ってきてクリスマスオーナメントなどのクラフト作りを実施しました。



ウッドスタート宣言

🌳 7月にウッドスタート宣言をしました。

→コロナ禍のため、ささやかにお祝い会を実施しました。

→子どもたちには「奇二先生との自然遊び」をプレゼント。



奇二先生と自然遊び

🌿 普段から遊びに行っている公園に、今まで知らなかった木・鳥・虫・花などがたくさんあることを知り、子どもたちは生き生きと嬉しそうな姿を見せてくれました。(4・5歳児が参加)



奇二先生と自然遊び

🌳 帰園後には、見てきたものを模造紙に貼りました。

→玄関側の低いところに掲示したことで、保護者の方や年下の子どもたちの反応が思った以上にありました。



どんな子どもたちに育って欲しいか

🌳 都会育ち・園庭もないけれど、
身近な自然に触れながら木育をしていく。
自然という環境を通して、
『自分で考え・自分で行動できる
たくましく生きる力』の基礎を培っていききたい。

